

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第11週に693件の報告がありました。新規感染者数は減少傾向が続いています。基本的な感染予防対策を続けることが大切です。

2 インフルエンザ

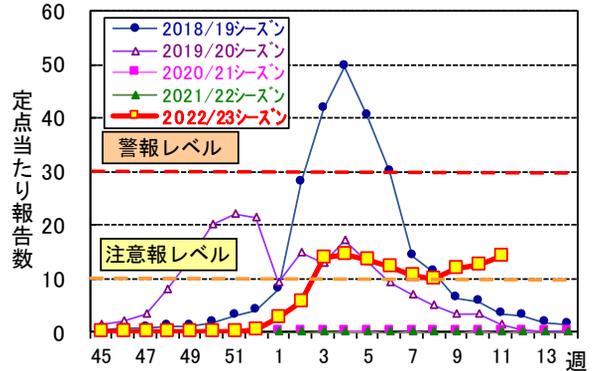
定点当たり14.11人の報告があり、増加傾向です。諸外国では、新型コロナウイルス感染症の発生以降、インフルエンザの流行が過去に類をみないタイミングで起こったり、今まで一峰性であった流行が二峰性となった地域もあり、今後の発生動向に注意が必要です。引き続き、感染予防対策を心がけましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第11週 A型:117人、B型:1人

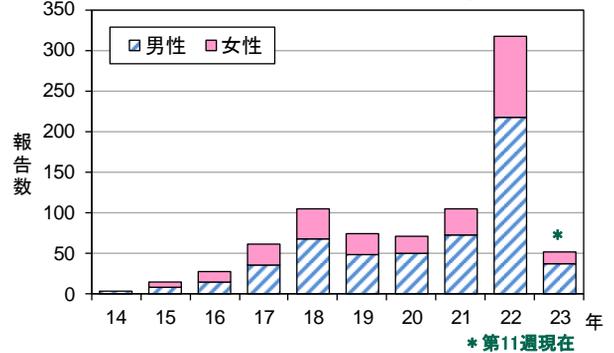
3 梅毒

今年の累計は52件となり、多い状況が続いています。例年、約3割を女性が占めており、2022年は100件の報告がありました。女性の感染者の増加に伴い、今後、先天梅毒(妊婦から胎盤を通して胎児に感染)が増加するのではないかと心配されています。心当たりや疑わしい症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザの流行状況(広島市)



梅毒の年間報告数の推移(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	522	14.11	2.44	↗	小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.06	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.19			RSウイルス感染症	-	-	0.30	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.33	1.49	↓	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	104	4.33	6.61	↗		流行性角結膜炎	-	-	0.30	
	水痘	4	0.17	0.16		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	-	-	0.11			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.14			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	6	0.25	0.32			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.05			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.60	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	15	20歳代・推定感染地域: 国外、30歳代・推定感染地域: 国外
5	梅毒	7	52	40歳代・3人、50歳代・2人、60歳代・2人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告数	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
広島市	第7週	392	4	11	182	2	-	-	2	-	-	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	第8週	372	5	14	139	2	1	-	1	4	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	第9週	444	6	13	139	1	-	-	2	-	2	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-
	第10週	462	7	19	134	-	2	-	5	1	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	第11週	522	9	8	104	4	-	1	6	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	第7週	10.59	0.17	0.46	7.58	0.08	-	-	0.08	-	-	0.33	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
	第8週	10.05	0.21	0.58	5.79	0.08	0.04	-	0.04	0.17	-	0.04	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
	第9週	12.00	0.25	0.54	5.79	0.04	-	-	0.08	-	0.08	0.13	0.25	0.25	-	-	-	-	-	-	-
	第10週	12.49	0.29	0.79	5.58	-	0.08	-	0.21	0.04	0.08	0.13	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
	第11週	14.11	0.38	0.33	4.33	0.17	-	0.04	0.25	0.04	0.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	第9週	10.17	0.15	0.48	5.95	0.06	0.07	0.01	0.21	0.04	0.03	0.34	0.01	0.19	0.03	0.02	0.01	-	-	0.02	-
	第10週	11.10	0.17	0.52	5.88	0.06	0.07	0.01	0.21	0.05	0.03	0.35	0.01	0.20	0.02	0.02	0.02	-	-	0.01	-

■広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第11週(3月13日～3月19日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
78	86	68	95	117	84	56	57	52	-	693

【累計報告数(3月19日)現在】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明	合計
47,471	52,468	54,044	55,668	58,651	41,149	22,702	17,048	15,830	404	365,435

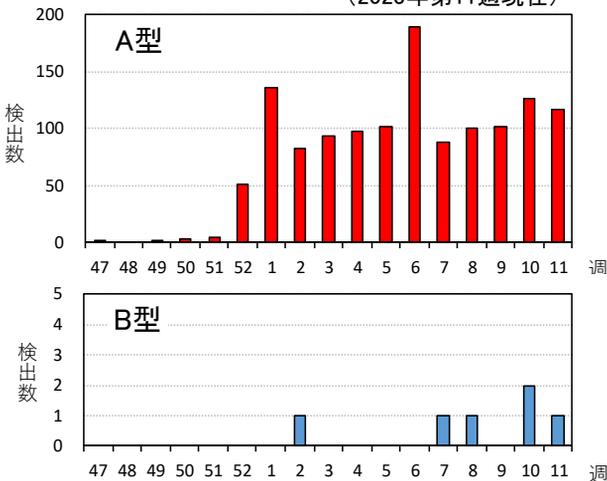
新型コロナウイルス感染症の相談窓口
コールセンター(積極ガードダイヤル) TEL:082-241-4566
全日24時間対応

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報 (<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】広島市における今シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザ迅速診断キット検査結果

(2023年第11週現在)



市内2か所の協力医療機関における、迅速診断キットによるインフルエンザウイルス検出数の今シーズンの累計は、A型陽性1,297人、B型陽性が6人と、A型が多く検出されています。また、広島市衛生研究所による遺伝子検査(注)では、インフルエンザウイルスA(H3)型が7件、B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)が1件検出されています(2023年第11週現在速報値)。

(注) 感染症発生動向調査における病原体定点において採取された検体を、広島市衛生研究所で検査したものです。

全国のインフルエンザウイルス分離・検出速報については、こちらをご覧ください。↓

「インフルエンザウイルス分離・検出速報」(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr-inf.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。
 URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp